

## 読書の贈り物

～テーマを決めてブックトークをしよう～

2年 国語表現  
「読書の贈り物」  
資料の活用・ブックトーク

ねらい

- ブックトークのやり方を理解し、自分でテーマを決めて本を選び、紹介シナリオを書くことができる。
- テーマに合った本を検索し、探すことができる。
- 評価の観点を理解して、ブックトークを聞くことができる。

### 学 習 展 開 . . . . .

- ① 教科担当教員が授業の流れと、発表方法・評価の観点等を説明する。学校司書と司書教諭がブックトークを行い、ブックトークとはどういうものかを知らせる。
- ② 生徒各自がテーマを決めて、図書館内から 3冊の本を選び読む。
- ③ 生徒は紹介のシナリオを作り、全員の前で発表する。
- ④ 生徒は発表毎に評価シートに記入する。自分自身の自己評価も書く。
- ⑤ 教科担当教員が評価結果を生徒に返す。
- ⑥ ブックトークに使った本はテーマを添えて館内に展示する。



ブックトークで使った本の展示と生徒の作品

### ◆司書教諭と学校司書の関わり

- 学校司書と司書教諭は相談してブックトークを行う。
- 学校司書と司書教諭は教科担当教員と相談し、評価シート等の資料を準備する。
- 司書教諭は教科担当教員と協力し、生徒のテーマ設定、シナリオ書きの支援を行う。
- 学校司書と司書教諭は、図書館での生徒の本の検索を支援する。

### ★指導のポイント

- ◆ 文学のみに偏らないように3冊の本のバランスを考えさせる。
- ◆ 実物提示、歌や朗読、クイズなどもブックトークの要素であることを知らせる。
- ◆ 評価シートは内容(テーマ、選んだ本、シナリオ)、表現(発表の仕方、工夫)で評価し、感想欄も設ける。

資料

「はじめよう学校図書館9 読書イベントアイデア集〈中・高校生編〉」  
(高見京子著/全国学校図書館協議会)